

## 【平和学習】

貸出No.	題名	制作年度再生時間	内容	副読本
新 294	アゲハがとんだ -1945・10東京大空襲-	R01年 (2019年)  20分	東京の下町に住む国民学校6年生の主人公は空襲を避けるため同級生たちと山間部に学童疎開していたが、卒業が近づき、東京へ戻ることになる。そんな中、東京が大空襲に見舞われる。昭和20年(1945年)3月10日の東京大空襲をテーマに、悲惨な体験をする子どもたちの姿を描き、戦争の悲惨さと平和の大切さを訴えかけるアニメーションである。作品の途中には、学童疎開の様子や軍楽隊の行進、燈火管制の状況、焼夷弾の説明がされている教材です。	
新 293	自由と人権を求める人々の 叫び -ウルクアイ偏-	R04年 (2022年)  27分	ウイグルにおける人権弾圧の実態について、在日ウイグル人の男性と、実際に収容施設に入れられた経験のあるウイグル人女性に語っていただき、貴重な映像資料も交えながら伝えていきます。彼らの魂の叫びを通し、現代に生きる私たちが真剣に向き合わなければならない自由と人権のあり方を考えていきます。	
263	いわたくんちのおばあちゃん ～ぼく、戦争せんけえね～ (アニメーション教材)	H21年 (2009年)  20分	アニメの主人公、寛太は友達のおばあちゃん(ちづこさん)の話を聞くうちに、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしています。この作品は、広島で起こった実際の話がもとになっています。	
262	つるにのって (アニメーション教材)	H5年 (1995年)  27分	小学6年生の元気な少女とも子は、夏休みのある日、広島原爆資料館を訪れました。とも子は、平和公園で不思議な少女と出会いました。彼女の名前はサダコ。そして、サダコの案内で、とも子の不思議な不思議な冒険が始まります。	
261	ボクとガク (アニメーション教材)	H21年 (2009年)  42分	小学5年生の希望(のぞむ)と岳(がく)は、近所の美代おばあさんと親しくなり、かつての友だちや地域、八幡大空襲のことを教わります。2人の子どものおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権や、地域で育む人権文化に目を向け、また次代に語り継ぐものとして「戦争と平和」についても描いています。	
231	アフガニスタン難民 平和を知らない子どもたち	H14年 (2002年)  18分	【文部科学省選定】 パキスタン国内のアフガニスタン難民キャンプで1999年から2002年にかけてそこに生活する難民の子どもたち取材しました。	
230	太平洋戦争と沖縄	H7年 (1995年)  35分	【教育映画祭優秀作品賞】 太平洋戦争中、唯一日本での地上戦が展開された沖縄。多くの住民をも巻き込んだ3ヶ月にわたるこの地域の戦場を、数々の証言と資料映像で綴る迫真のドキュメント。	
229	日韓併合の道	H5年 (1993年)  30分	現存する遺跡、資料映像及び証言などをまじえながら、江華島事件から3・1万歳運動までの朝鮮半島の歴史を描きます。	
228	太平洋戦争への道 中国大陸侵略	H9年 (1997年)  30分	泥沼化する日中戦争に焦点をあて、何故日本は太平洋戦争に突入していったのか、貴重なニュースフィルムと歴史の証言者たちへのインタビューによって綴ります。	

貸出No.	題名	制作年度再生時間	内容	副読本
227	太平洋戦争と東南アジア	H4年 (1992年) 29分	太平洋戦争はコタバルから始まった。マレー半島での中国人虐殺を中心に、証言と歴史的フィルムによって太平洋戦争の本質を探ります。	
177	一つの花 (アニメーション教材)	H17年 (2005年) 23分	「一つだけちょうだい」これがゆみ子の覚えた最初のことばでした。なんとかわいそうな子でしょう。一つだけちょうだいと言えば、なんでももらえると思っているのね。この子は、みんなちょうだいと言って両手を出すことを一生知らずに過ごすかも知れない。原作にない周囲の隣人や動物を登場させ、子どもたちに分りやすく描いています。	
176	一つの花 (アニメーション教材) (バリアフリー対応作品) 副音声・字幕スーパー付			
174	100ばんめのサル (アニメーション教材)	H19年 (2007年) 17分	いま、世界は戦争、核兵器の問題に視線が注がれています。地球を死の惑星から守るために一匹のサルが芋を洗って食べることから始まります。芋を洗って食べるサルが100匹になった時、不思議な現象が起こりました。100ばんめのサル、いや100ばんめの人間が手をつなぎ、世界中へ大きな人の和となって広がっていくのです。	